

福山大学 就職委員会 2020年度 自己点検・評価書

基準1.	理念・目的
領域:	使命・目的、教育目的

2020年度

就職委員会

中長期計画	就職委員会は当該学部・学科の就職活動状況を常に把握すると共に、ゼミ教員のバックアップに努める体制を強化する。ゼルコバの就職システムを用いた就職支援を積極的に行なう。就職・求人情報の収集・提供、企業訪問、就職ガイダンスの運営、保証人との就職懇談会、学生への就職相談・履歴書等の書き方指導、面接指導(集団面接・グループ面談も含め)などを徹底する。能動的な企業訪問、企業情報収集それに基づく学生とのマッチングへの体制を確立する。「1級キャリア・コンサルティング技能士」の国家資格を保有する職員がより高度な就職に関する個別相談や面接練習を毎日行えるように体制を整えている。ジョブサポーターやキャリア・アドバイザー等の支援も極めて有効であり、引き続き継続する。E-Learningなども活用して、「一般常識」「SPI」「論作文」や面接試験等の対策指導の充実を図る。同窓会との連携を踏まえた就職指導を取り入れる。
--------------	--

2020年度

就職委員会

中点検項目	1-1. 大学、学部、学科、研究センター及び委員会等は、それぞれの使命・目的及び教育目的を設定していますか。
点検項目	① その意味・内容は具体的かつ明確ですか。
現状説明	建学の精神に基づいた「全人格陶冶」の理念、目的に沿って、就職委員とゼミ担当教員、並びに就職課が連携して全学的な指導体制を維持している。
年度目標	現状を維持
年度報告	就職委員と就職課、各学科ゼミ担任が緊密に連携し、本学の理念と目的に沿った、全学的な就職指導体制を維持している。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ
点検項目	② 個性・特色を明示していますか。
現状説明	ゼミ担当教員が責任をもって進路指導を行っており、就職委員と就職課が連携して全学的な指導体制を採っている。この体制に移行して以来、高い就職内定率を維持している。
年度目標	現状を維持
年度報告	全学的な指導体制を採り、高い就職内定率を維持している。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②学長室ブログ(就職支援関連: https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/47177/) ③学長室ブログ(業界説明会: https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/46889/)
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 社会の要請や背景の変化について検討していますか。
現状説明	社会情勢により、就職状況が大きく変化する場合が多い。企業との良好な関係を維持するために、企業訪問等により就職情報など精査し、委員会で検討している。
年度目標	現状を維持
年度報告	社会情勢により、就職活動状況が大きく変化した。就職情報、求人情報を精査し、委員会において検討を行った。こうした検討により、全国における2021年3月卒業予定の学生の就職内定率が前年を下回る調査結果があるなか、本学における2021年3月卒業予定の学生の就職内定率は前年を上回っている(令和3年1月21日時点)。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①就職委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映
点検項目	① 使命・目的及び教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られていますか。
現状説明	進路指導はゼミ担当教員と就職委員、並びに就職課が連携して全学的な指導体制が確立されている。教職員の理解と支持は概ね得られている。
年度目標	現状を維持

年度報告	全学的な指導体制が確立されている。また、教職員の理解と支持は概ね得られている。また、本年度は、Zoom等のオンライン方式の導入及び活用、並びに社会連携推進センターの利用等を行った。こうした新しい指導体制に対しても、教職員の理解と支持を概ね得られている。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学内外へ公表し、周知していますか。
現状説明	就職委員会の役割と目的や目標等は、大学ホームページや学生便覧で公表し周知している。
年度目標	現状を維持
年度報告	就職委員会の役割と目的や目標等は、大学ホームページや大学要覧で公表し周知している。本年度は、Zoom等のオンライン方式の導入及び活用、並びに社会連携推進センターの利用等を行った。こうした新しい指導体制に関し、就職課及び就職委員により、学外及び学内へ周知徹底を行った。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②大学要覧 ③就職の手引き
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 中長期的計画に反映していますか。
現状説明	就職委員会の中長期計画に反映させるために、全学的な就職支援体制を維持している。教職員のスキルアップのための対策を検討している。
年度目標	現状を維持
年度報告	中長期計画に反映させるため、全学的な就職支援体制を維持した。また、教職員のスキルアップのための対策としてFD研修(オンライン)を開催した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②FD研修内容
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 三つのポリシーに反映していますか。
現状説明	卒業生が各分野で活躍しており、建学の理念に沿った教育により就職の質と量が向上している。従って、三つのポリシーへ反映していると考えられる。
年度目標	現状を維持
年度報告	建学の理念に沿った教育により就職の質(満足度)と量(内定率)が向上している。質(満足度)に関しては、例えば、就職体験発表会への主体的な協力により判断できる。また、量(内定率)に関しては、1-1.③に記載した内容と同様である。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①就職委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教育研究組織の構成との整合性は取れていますか。
現状説明	就職委員が適切に配置されており、各学部・学科の組織の構成や状況を把握しながら、進路指導を行っている。大学院の進路指導に関しては、引き続き検討する。
年度目標	現状を維持
年度報告	各学部・学科の組織の構成や状況を把握し、適切な就職指導を行った。また、大学院の指導体制については検討し、適切に指導が行われた。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②学部長等連絡会議資料
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

基準2. 学生

領域: 学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応

中長期計画	就職委員会は当該学部・学科の就職活動状況を常に把握すると共に、ゼミ教員のバックアップに努める体制を強化する。ゼルコバの就職システムを用いた就職支援を積極的に行なう。就職・求人情報の収集・提供、企業訪問、就職ガイダンスの運営、保証人との就職懇談会、学生への就職相談・履歴書等の書き方指導、面接指導(集団面接・グループ面談も含め)などを徹底する。能動的な企業訪問、企業情報収集それに基づく学生とのマッチングへの体制を確立する。「1級キャリア・コンサルティング技能士」の国家資格を保有する職員がより高度な就職に関する個別相談や面接練習を毎日行えるように体制を整えている。ジョブサポーターやキャリア・アドバイザー等の支援も極めて有効であり、引き続き継続する。E-Learningなども活用して、「一般常識」・「SPI」・「論作文」や面接試験等の対策指導の充実を図る。同窓会との連携を踏まえた就職指導を取り入れる。
-------	--

中点検項目	2-1. 学生の受入れ
点検項目	① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と学内外への周知を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れていることを検証し、学生受入れの改善に生かしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 入学生受入れ状況を昨年度及び今年度について検証し、その増減の原因を分析していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 入学定員に沿った適切な学生受入数を維持できていますか。できていない場合、どのような対策を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

中点検項目	2-2. 学修支援
点検項目	① 学修体制の整備のため、どのような教員と職員等の間でどのような協働をしていますか。また、それを学内外に公表し周知していますか。
現状説明	
年度目標	

年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学修支援の充実のために、TA(Teaching Assistant)等を有効に活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	2-3. キャリア支援
点検項目	① 教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に関するキャリア形成支援体制を整備していますか。
現状説明	就職ガイダンス等を定期的に開催しており、学生の社会的・職業的自立に向けて啓発を行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	就職ガイダンスについては、情勢に合わせZoom等によりオンラインで適切に開催した。学生の社会的・職業的自立に向けた啓発を行った。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②Cerezo就職ガイダンス
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 卒業生の進路に関する過去3年間にわたる資料を収集し、検証していますか。
現状説明	過去の卒業生の進路を記録しており、就職委員会での進路指導に活用している。
年度目標	現状を維持
年度報告	過去の卒業生の進路を記録しており、就職委員会での進路指導に活用している。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①Zelkova Web就職
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 資格取得やインターンシップを支援する体制を整備していますか。
現状説明	この質問は該当していません。 関連する事項はありません。
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 就職指導を適切に行い、就職の質及び内定率の向上に取り組んでいますか。
現状説明	就職委員とゼミ担当教員、並びに就職課が連携した結果、就職の質及び内定率の向上に取り組んでおり、成果を上げている。
年度目標	現状を維持する。
年度報告	就職課、就職委員、各学部学科のゼミ教員は緊密に連携し、就職の質、内定率の向上に取り組んだ。その結果として成果を上げている（1-2. ④参照）。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②各学科別進路状況
次年度の課題と改善の方策	

2020年度	就職委員会
中点検項目	2-4. 学生サービス
点検項目	① 学生生活の継続のための経済的支援は実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 種々のハラスメントの発生防止に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 課外活動(サークル活動、留学等の国際交流、社会貢献活動を含む)の活性化のために、どのような取り組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度	就職委員会
中点検項目	2-5. 学修環境の整備
点検項目	① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理をどのように実施しています
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ICT教室、実習・実験施設、図書館等を活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 施設・整備のバリアフリー化やアメニティスペースの確保など、学生の利便性を高めるために、どのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①

次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 授業を行う学生数等を考慮した適切な施設・設備上の管理をしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 施設・設備の管理において、防災・防火の観点から整備点検を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 施設内に保管している劇物・危険物の管理において、安全管理の観点から管理システムを整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 学生及び教職員の安全確保のために、各部署に適切な安全管理教育の実施、災害時避難マニュアルの作成及び防災訓練等を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	2-6. 学生の意見・要望への対応
点検項目	① 学修支援に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	

根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 学修環境に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制が整備されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	

2020年度

就職委員会

基準3. 教育課程**領域: 卒業認定、教育課程、学修成果**

2020年度

就職委員会

中長期計画

2020年度

就職委員会

中点検項目 3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

点検項目	① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーは、学内外に周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準（ルーブリック等の評価指標を含む）等の策定はどのように行われ、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を公表し、厳正に適用されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目 3-2. 教育課程及び教授方法

点検項目	① カリキュラム・ポリシーを策定し、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	

根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの間に一貫性がありますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程を体系的に編成していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 教養教育は専門教育とともに十分に実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教授方法を工夫・開発(ICTの活用を含む)し、効果的に実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ ディプロマ・ポリシーと卒業判定の整合性を考えていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	3-3. 学修成果の点検・評価
点検項目	① 全学及び各学科等のアセスメント・ポリシーの活用も含め、三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①

次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバックは、どのように実施されていますか。学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導等の改善につなげていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

基準4. 教員・職員**領域: 教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援**

2020年度

就職委員会

中長期計画	就職委員会は当該学部・学科の就職活動状況を常に把握すると共に、ゼミ教員のバックアップに努める体制を強化する。ゼルコバの就職システムを用いた就職支援を積極的に行なう。就職・求人情報の収集・提供、企業訪問、就職ガイダンスの運営、保証人との就職懇談会、学生への就職相談・履歴書等の書き方指導、面接指導(集団面接・グループ面談も含め)などを徹底する。能動的な企業訪問、企業情報収集それに基づく学生とのマッチングへの体制を確立する。「1級キャリア・コンサルティング技能士」の国家資格を保有する職員がより高度な就職に関する個別相談や面接練習を毎日行えるように体制を整えている。ジョブサポーターやキャリア・アドバイザー等の支援も極めて有効であり、引き続き継続する。E-Learningなども活用して、「一般常識」「SPI」「論作文」や面接試験等の対策指導の充実を図る。同窓会との連携を踏まえた就職指導を取り入れる。
-------	--

2020年度

就職委員会

中点検項目	4-1. 教学マネジメントの機能性
点検項目	① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップが確立され、それが発揮されていますか。当該部署の長は当該部署の教学マネージメントにおいて適切にリーダーシップを発揮していますか。
現状説明	就職委員会の意思決定と運営に関しては、全学的な定められた方針に基づき実行されており、就職に関する各種のイベント等も学長の了解を得ている。その方針に従って、就職委員長が就職委員会に諮り、具体的な実施を行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	学長の指導のもと、就職委員長は就職委員会に諮り、具体的な実施を行った。また、就職課長と就職委員長は、そのリーダーシップのもと、新任の就職委員に対し適切な指導を行った。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②就職ガイダンス等の年間スケジュール表 ③就職委員会の議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 当該部署では、教職員間で権限・役割を適切に分散し、かつそれぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施していますか。
現状説明	学生の就職指導に関してはゼミ担当教員が責任をもち、就職委員と就職課が協力して全学的な指導を徹底している。
年度目標	現状を維持
年度報告	各学部学科のゼミ担任教員、就職委員、就職課がそれぞれの責任を明確化するとともに、緊密に連携し、全学的な指導体制のもと、指導を実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②就職委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	③ 職員の配置と役割の明確化などにより、教学マネジメントの機能性を高めていますか。
現状説明	就職課に職員が4名配置されており、企業訪問や情報収集、学生との個人相談や面接練習などの業務を協力して行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	職員の配置と役割は明確化されており、その協力体制も確立されている。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①大学ホームページ ②就職委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	4-2. 教員の配置・職能開発等
点検項目	① 当該部署の教育目的及び教育課程に即した資質を有する教員を配置していますか。また、当該部署の適切な運営及び継続性を担保する構成(性別、年齢、職階等)となっていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学設置基準、教職課程等の資格養成機関に求められる教員数を確保していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ FD(Faculty Development; 教育内容・方法等の改善)をはじめとする教員の資質向上に向けた取り組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	4-3. 職員の研修
点検項目	① SD(Staff Development; 教職員の個々の職能開発)をはじめとする大学運営に関わる教職員の資質・能力向上と教職協働への取り組みを実施していますか。
現状説明	就職委員、ゼミ担当教員と就職課が協力して、就職指導に関して徹底している。ゼミ教員の指導能力が十分でない場合でも、就職委員会と就職課の協働により高い就職内定率を維持している。
年度目標	現状を維持
年度報告	教員の資質、能力向上の取り組みとして、就職ガイダンス(オンライン)を実施した。
達成度	B
改善課題	教職員全体の教職協働への取り組みの方策を検討する。
根拠資料	①大学ホームページ
次年度の課題と改善の方策	教職員の資質・能力向上と教職協働への取り組みの方策を検討する。
点検項目	② 大学運営の効率改善のために ICTの活用を推進していますか。

現状説明	求人情報や学生との面談記録などはWEB就職システムを活用できている。
年度目標	現状を維持
年度報告	Zelkova(web就職)を中心に、Cerezo(就職ガイダンス)を活用した。また、ZoomやYoutube等の外部ICTサービスの活用も推進した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①Zelkova(web就職)を中心に、Cerezo(就職ガイダンス)
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	4-4. 研究支援
点検項目	① 研究に専念する時間の確保、研究室の施設設備の整備等の研究環境を適切に管理していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 研究倫理の確立(規則の整備や検査等)と厳正な運用が行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 研究活動への資源の配分や運用は適正に行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 公的研究費の運営・管理(ガイドライン等)が整備され、周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

基準6. 内部質保証

領域: 組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル

2020年度

就職委員会

中長期計画	就職委員会における内部質保証は全学の方針に従う。検証については、毎年度、福山大学就職委員会自己評価点検委員会で行う。自己点検評価書を就職委員会にフィードバックし、就職ガイダンスや保証人との就職懇談会、企業との就職懇談会といった具体的な実施について委員会で検討する。
-------	--

2020年度

就職委員会

中点検項目	6-1. 内部質保証の組織体制
-------	-----------------

点検項目	① 内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立していますか。
現状説明	就職指導に関する基本方針や計画は就職委員会で審議され、就職委員会と就職課が協力して実施している。実施結果は学部長等連絡会議や全学教授会で就職委員長が報告している。問題点等は就職委員会で検討し、各学部・学科にフィードバックしている。内部質保証のための組織として、就職委員会の中に就職委員会自己点検評価委員会を設置している。メンバーは委員長、副委員長、各学部から1名以上および就職課長で構成されている。
年度目標	現状を維持
年度報告	内部質保証のための組織として、就職委員会の中に就職委員会自己点検評価委員会を設置し、点検を行った。就職指導に関する基本方針は、就職委員会で審議され、就職委員と就職課が協力し実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①全学自己点検評価書 ②自己点検評価委員会細則
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 就職委員会

中点検項目	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
点検項目	① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価が実施され、その結果を当該部署の教職員が共有していますか。
現状説明	就職委員会で自己点検報告書及び計画書を毎年作成し、全学自己点検評価委員会で検討されている。その結果に基づき、自己点検評価書にまとめられている。
年度目標	現状を維持
年度報告	就職委員会で自己点検報告書及び計画書を作成し、全学自己点検評価委員会で検討した。その結果に基づき、自己点検評価書にまとめられている。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①全学自己点検評価書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② IR(Institutional Research)等を活用した十分な調査・データの収集と分析を行っていますか。また、その結果を改善に活かしていますか。
現状説明	就職内定率や地域別情報、求人社数や求人件数などのデータを整理している。また、採用企業からアンケート結果を分析し、教育成果や企業からの要望について報告書にまとめて
年度目標	現状を維持
年度報告	採用企業による本学卒業生の評価アンケート解析結果等により、指導方針を検討した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①採用企業による本学卒業生の評価アンケート解析結果報告書
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 就職委員会

中点検項目	6-3. 内部質保証の機能性
点検項目	① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組み(システム)をどのように確立し、その機能性を検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 教職員のコンプライアンスを確立するための体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①

次年度の課題 と改善の方策	
2020年度	就職委員会
基準7. 福山大学ブランディング戦略	
領域: 「福山大学ブランディング戦略」の点検・評価（本学独自基準）	
2020年度	就職委員会
中長期計画	
2020年度	就職委員会
中点検項目	7-1. 福山大学ブランディング戦略の推進
点検項目	① 福山大学ブランディング戦略（ver. 2018）の概略について当該部署の学生及び教職員への周知を進めていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 福山大学はブランディングを「広告ではなく、社会に貢献する観点から他にはない固有の魅力を引き出して他との差別化を図り、社会から選ばれること」と捉えています。この観点からブランディングにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング戦略では「備後地域の産学官民連携を推進し、地域の教育資源を最大限に活用して人間性を高め、地域を愛し、地域で活躍し、地域から国際社会につながる『未来創造人』を育成すること」を方針としています。当該部署は、この方針の実現にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	④ 福山大学ブランディング戦略では、福山大学が備後地域の知の拠点として地域と共に育ち、地域創生に貢献することを目指しています。この目標の実現に向けて、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑤ 福山大学ブランディング戦略では、建学の理念に基づき、「地域の中核となる幅広い職業人」を、育成する人材像としています。そのために、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「備後地域との密な連携のもとに進める教育研究」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「学問にのみ偏重しない全人教育」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑧ 福山ブランディング戦略は、これからも進化させて、さらに発展させる必要があります。ブランディング戦略のブラッシュアップにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度

就職委員会

中点検項目	7-2. 福山大学ブランディング推進のための研究プロジェクト
点検項目	① 当該部署では全学的に展開しているプロジェクト研究の「瀬戸内の里山・里海学」にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 福山大学ブランディング研究に必要な内部資金及び外部資金をどのように獲得していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング研究の成果をどのように社会に発表していますか。
現状説明	

年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題 と改善の方策	